

東海地区大会 静岡大会

「生徒・保護者、そして地域に貢献できるPTA活動」



平成28年度東海地区高等学校PTA連合会静岡大会が6月17日（金）に静岡市の静岡市民文化会館大ホールを会場に東海地区の四県から1,673人の会員が参加して開催されました。

開会式では、本年度東海地区高P連会長に就任した杉浦政紀会長と全国高P連佐野元彦会長の挨拶の後、静岡県教育委員会 木苗直秀 教育長、静岡県高等学校長協会 鳥居春仁 会長より祝辞をいただきました。

次に株式会社m p i松香フォニックス会長 松香洋子氏より「家庭・学校・地域で取り組むグローバル人材の育成～我が子をグローバルな人材に育てるためには～」の演題で講演いただきました。

松香氏は、高校の英語教員を出発点にアメリカに子連れ留学し、帰国後は高校講師となりましたがその後、フォニックス学習による児童英語教育に専念されています。

高校の英語教育や高校生にも深く興味を持たれ、自分の経験をとおして百年に一度と言われる教育改革が進む中、家庭・学校・地域が連携して、いかに次代に生きるグローバル人材の育成をするか、また、家庭においていかに子どもを育てたらよいかなど、随所に英語によるゲームや対話を取り入れ、分かり易く講演をいただきました。日ごろ仕事（英語教育）をとおして感じているお話の中で、普段の生活で話が苦手な子供が簡単に英語を話すことはできない。常に人前で簡潔に話すこと、面白いことも言うこと、そして、「あなたと友達になりたいな」と思うような人間であることがすべてにつながっていくと説かれていました。



続いて、研究協議が行われ、「生徒指導とPTA」で、静岡県立焼津水産高等学校 興津邦彦PTA会長他役員の皆様により「生徒指導は朝ご飯から～朝食をしっかりと食べることが与える好影響～」と題して、平成17年度から始まった取組みをデータにまとめ、その成果として朝食の欠食率を減らすことによって、新体力テストの向上や生徒指導件数の減少など好影響を与えているとの発表がありました。

「家庭教育とPTA」では、三重県立石薬師高等学校 阪倉悦子PTA前会長より「PTA活動と家庭の教育力向上に向けての取組み（生徒や先生と共に学ぶ）」と題しての発表がありました。PTA総会や各種活動で出席者の少ない現状を踏まえて、新しく保護者が先生方や生徒と共に学ぶ機会として研修会・講座を三回実施したとの発表がありました。

閉会式では、三重県高P連会長細渕 修会長より次年度開催県としての挨拶と閉会のことばをいただき無事大会が閉幕しました。